

②
SOAIP

②の欄：

①の欄に記入または貼り付けた記録のどの部分が、S, O, A, I, P に相当するか、ここに記号を書き出してみます。記録そのものにアンダーラインかマーカーを引いてみるのもよいでしょう。

① 援助が困難・うまくいった / 書けていない・書けている

①の欄：

- ・自分自身の支援経過記録の場面で、F-SOAIP で書き換えたい場面を思い出しなが記入するか、その場面をコピーできる場合には、ここに張り付けて下さい。
- ・取り上げるのを避けた方がよい場面は、次のとおりです。
 - ×数行の簡単な対応場面
 - ×この①の欄に記入しきれない場面
 - ×初回面接の場面
 - ×カンファレンスの場面
- ・この「ワークシート」に初めてチャレンジする場合は、【初回】を○で囲みます。
- ・既に F-SOAIP を導入している場合には、あらためて検討したい F-SOAIP の場面を用います。【導入】を○で囲みます。
- ・取り上げた場面が、「援助が困難な場面」か、「うまくいった場面」を選びます。
- ・取り上げた場面が「うまく書けていない」か、「うまく書けている」を選びます。

F
S

O

A

I

P

③

③の欄：

- ・①の場면을改めて S, O, A, I, P に沿って思い出し、各項目別に 補足が必要な場合や漏れていた内容があれば、該当する項目に記入し、①のどこに挿入すべきか、矢印(→)で示して下さい。
- ・③までをふまえ、F を考えて記入してみましょう。

④できたこと

④⑤の欄：

- ・①～③までの作業をふりかえって記入して下さい。
- ・対応そのもののふりかえりではありません。

⑤難しかったこと

⑥

F：

⑥の欄：

- ・上段のワークをふまえて、F, S, O, A, I, P の項目を 用いて、書き直してみましょう。
- ・F は、最初の 1 行目に記入します。既に③で考えてみた F をあらためて考えてみましょう。
- ・F を決めることにより、当該記録場面の実践過程を焦点化でき、記録内容を取捨選択できます。
- ・F-SOAIP は生活モデルに立脚する経過記録法ですので、F は SOAP のような問題点を列挙するわけではありません。F は当該記録場面をイメージできるようなタイトルとご理解下さい。
- ・F の表現については、テキスト 11 頁をご参照下さい。
- ・S, O, A, I についてはその順番も、用いる回数も制約はありません。
- ・P は最後の行に記入します。

⑦の欄：

- ・ワークシートを行う前後での、気づきや学び、考え方の変化などについて記入して下さい。

⑧の枠：

- ・今後、どのように F-SOAIP を活かしたいかについて記入して下さい。

※テキスト

寫末憲子・小嶋章吾『医療・福祉の質が高まる生活支援記録法[F-SOAIP] 多職種の実践を可視化する新しい経過記録』中央法規、2020 年、64-68 頁に詳細説明あり。

⑦ワーク前後の気づき・学び・変化

⑦の欄：

- ・ワークシートを行う前後での、気づきや学び、考え方の変化などについて記入して下さい。

【導入・OJT 版】では、①にも F-SOAIP による記録場面を記載しますので、⑥では、記録場面の内容（アセスメントやアプローチ等）に立ちいった検討ができます。

⑧今後の展望

⑧の枠：

- ・今後、どのように F-SOAIP を活かしたいかについて記入して下さい。

F-SOAPIワークシート【初回】導入・OJT版】

令和4年5月〇日 氏名 永田純一

②	①援助が困難・ <u>うまくいった</u> /書けていない・ <u>書けている</u>	③						
S S、I P P S A A I P	自宅にて本人、家族（妻）に面接。 B様本人より「デイサービスにこれまで通ってきたが左上肢と下肢の麻痺が良くなっていない。変わっていない。どちらのデイサービスもやめようと思っている。無駄にお金を払って通うくらいならやめようと思っている」と。B様本人、奥様と話し合う。デイサービスは来月1月は継続することになる。1日型の「デイサービス」の方はB様本人で通うかどうか判断する方向。→「家に来てもらえる療法士が誰か、それも左側の麻痺を改善する自信のある人を紹介してほしい」とB様本人。ただし「C病院の訪問療法士」に対しては病院の体制を含めて不満ある。かかりつけの「Dクリニック」はリハビリには関心がなく「訪問看護指示書」も書いてもらえそうにない(前回「指示書」の記入を断られた)。ケアマネジャーからは、医療保険で対応できる「訪問針きゅう整体」の「E事業所」のパンフレットにて無料体験施術を受けられることを提案した。「施術同意書」や「訪問看護指示書」を書いてもらえる医師につなげることも課題。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="983 293 1038 831">F S O A I P</td> <td data-bbox="1038 293 1516 831"> 本人の意向と合う機能訓練 左上下肢に重度の麻痺あり。目標は「左上下肢の麻痺の改善」と「杖なし歩行を目指す」。訪問リハビリは本人の意向によって中止となった経緯ある。2カ所のデイサービスに通所。 現在のデイサービス2カ所ともに不満ある。本人の思っている目標とデイサービスでの取り組み内容に違いがある。 リハビリの相談ができる医師を探す。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="983 831 1038 1025">①</td> <td data-bbox="1038 831 1516 1025"> 良かったこと 面接時にさかのぼって振り返りが行えたこと。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="983 1025 1038 1025">②</td> <td data-bbox="1038 1025 1516 1025"> 難しかったこと Oの記入内容の絞り込み。 </td> </tr> </table>	F S O A I P	本人の意向と合う機能訓練 左上下肢に重度の麻痺あり。目標は「左上下肢の麻痺の改善」と「杖なし歩行を目指す」。訪問リハビリは本人の意向によって中止となった経緯ある。2カ所のデイサービスに通所。 現在のデイサービス2カ所ともに不満ある。本人の思っている目標とデイサービスでの取り組み内容に違いがある。 リハビリの相談ができる医師を探す。	①	良かったこと 面接時にさかのぼって振り返りが行えたこと。	②	難しかったこと Oの記入内容の絞り込み。
F S O A I P	本人の意向と合う機能訓練 左上下肢に重度の麻痺あり。目標は「左上下肢の麻痺の改善」と「杖なし歩行を目指す」。訪問リハビリは本人の意向によって中止となった経緯ある。2カ所のデイサービスに通所。 現在のデイサービス2カ所ともに不満ある。本人の思っている目標とデイサービスでの取り組み内容に違いがある。 リハビリの相談ができる医師を探す。							
①	良かったこと 面接時にさかのぼって振り返りが行えたこと。							
②	難しかったこと Oの記入内容の絞り込み。							
④ F S O A I P	①本人の意向と合う機能訓練 ①デイサービスにこれまで通ってきたが左上肢と下肢の麻痺が良くなっていない。変わっていない。どちらのデイサービスもやめようと思っている。無駄にお金を払って通うくらいならやめようと思っている。 ②家に来てもらえる療法士が誰か、それも左側の麻痺を改善する自信のある人を紹介してほしい。 ③左上下肢に重度の麻痺あり。目標は「左上下肢の麻痺の改善」と「杖なし歩行を目指す」。訪問リハビリは本人の意向によって中止となった経緯ある。2カ所のデイサービスに通っている。 ④①現在のデイサービス2カ所ともに不満ある。本人の思っている目標とデイサービスでの取り組み内容に違いがある。 ②「C病院の訪問療法士」に対しては病院の体制を含めて不満ある。かかりつけの「Dクリニック」はリハビリには関心がなく「訪問看護指示書」も書いてもらえそうにない(前回「指示書」の記入を断られた)。 ⑤②奥様と話し合う。 ⑥②医療保険で対応できる「訪問針きゅう整体」の「E事業所」のパンフレットにて無料体験施術を受けられることを提案。 ⑦②リハビリの相談ができる医師を探す。 ⑧②「施術同意書」や「訪問看護指示書」を書いてもらえる医師につなげること。	①ワーク前後の気づき・学び・変化 ・支援経過記録に何を記録すればよいか、絞り込むことができる。 ・記録する事項を整理できる。 ・面接をしたときにその場で同意が得られたり、方向性が決まった事項はどここの項目に記入したらよいか、客観的情報「O」の項目かそれとも「S」の項目か「P」の項目か。 ②今後の展望 面談のなかで検討が必要と思われる相談を受けたときは、項目ごとに記録をして振り返りができるようにしておく。						

② SOAIP	① 援助が困難・うまくいった / 書けていない・書けている	F S O A I P	③
			④ できたこと
			⑤ 難しかったこと

⑥ F :	⑦ ワーク前後の気づき・学び・変化
	⑧ 今後の展望